



水井 清光 議員

# 小中学校における英語力強化策

**問** 本市は四月から教育委員会が教育長、教育委員長、教育委員長の二人体制から教育長一人体制となりましたが教育行政を担っていく見解を伺う。

**答** 新教育委員会制度に基づく教育長として心して対応してまいります。

**問** 6月に文部科学省から示された生徒の英語力向上推進プランを受けて英語の「話す、聞く、読む、書く」の英語力の向上に向けてどのように取り組むのか。

**答** 生徒の着実な英語力の向上を目指し、明確な目標を設定し、達成状況を毎年公表し計画的に改善を推進していく。本市としては外国語指導助手などの外部人材を積極的に活用し児童生徒の英語力の向上を図ってまいります。



小高小学校 (小高区)

**問** 英語力の向上、強化のためには、教える側の教職員の資質向上、強化が必要と考えますが見解を伺う。

**答** 英語教諭の資質の向上が重要と思っております。外国語指導助手を中学校に配置し、英語授業の補助をしていただき、小学校での英語学習、幼稚園での英語を学ぶ機会、話せる機会、触れ合う機会を今後つくってまいりますと考えています。

**問** 先生の資質の向上と共に授業に専念できるサポート体制を行政として対応すべきと考えますが見解を伺う。

**答** 学校経営は校長が責任を持って、課題に対して、市全体としても教育委員会が今後とも対応していく。

**質問を終えて**  
自主自立して行くためには英語力の強化が必要であり、教育の重点課題に取り組んでほしい。

### その他の質問

- ① 小高区の小学校四校 中学一校の再開は
- ② 農業再生への具体的な計画策定は
- ③ 議決された議案の事業計画の見直しは



奥村 健郎 議員

# 本庁予算への集約状況は

**問** 予算編成について、各区それぞれ編成しているが、区割り配分的予算は本庁へ集約すべきと考えますが、見解を伺う。

**答** 各区において住民サービス向上につながる事業については、各区で予算編成をしていく。本庁予算への集約は、予算管理及び執行の効率化を図る観点から極めて重要である。各区共通事業予算については可能な限り本庁へ集約するよう通知している。今後もサービス低下にならない事業は可能な限り本庁へ集約する。

**問** これまで予算編成に取り組んできた中で、改善点や問題点をどのように捉え、それに対してどのように対応してきたのか伺う。

**答** 住民サービスの低下を招かないよう機能を分担し、効率的、効果的、組織的な形で運営していく。集約化をする一方で、効率化を図り、組織一体の機構のあり方、予算編成のあり方を随時見直ししていく。



小高商工会館

**問** 合併10年を迎え、南相馬市としての一体感醸成と若者や子供たちの未来のため、これまでの枠にとらわれないことなく、将来を見据えた予算編成のあり方を模索すべきと考えますが如何か。

**答** 将来を見据え、若い人が活躍できる予算措置が重要と考えます。人が生き生きとして活躍できる活動費を保障し、人に対する支援のあり方を予算編成の中でしっかりと捉えていく。

**質問を終えて**  
南相馬市の一体感醸成。それは区という縄張り意識を無くす事。

### その他の質問

- ① 外部組織の一体化に向けた支援策は
- ② 帰還に向けた支援策の考えは
- ③ 農業再生に向けた振興策は



渡部 一夫 議員

# 市長の政治姿勢について

市民が希望の持てる復旧・復興再生対策にむけて

## 除染関連の促進は

**問** 3月のときに「多くの苦情が寄せられている」との答弁がありました。まさに一生懸命努力したことが評価されず、努力しないことが評価の対象になるようなことについては、誠に憤むべきだと、私は思います。そのことについて見解を伺う。

**答** 個人の努力は別として、除染計画の中で示してきた、年間5ミリシーベルトを境として、それより高いところは全てを剥ぎ取り、それより低いところは詳細なモニタリングをして、除染すべきところは除染をするという対応をしてきたところです。



農地除染の様子（小高区金房）

## 賠償の有り様は

**問** 本市の賠償の在り様は、様々な格差が生じており一度原点に立ち返り、行政として公平な取り組みをすべきと考えますが、見解を伺う。

**答** 本市において、同一の被害については同一の賠償がなされるべきであり、単に同心円の

線引きによって賠償に区別を設けることは不合理であると考えています。市としては、引き続き地域の一体性を確保する上でも、今も続けている被害状況を訴え、被害状況に即した賠償がされるよう粘り強く国、東京電力に要望して参る考えです。

## 質問を終えて

『除染』『賠償』とは、自らの生命・財産を守る事であり、その事が希薄と感じました。

## その他の質問

- 1 動物愛護の推進は
- 2 公職選挙法改正は
- 3 改正道路交通法は



志賀 稔宗 議員

# ドローン特区で産業の再生を

**問** 小型無人航空機ドローンに期待が高まる中、市内企業も精力的に取り組んでいる。ドローン特区指定を推進すべきでは。

**答** ロボットテストフィールド実現に向け重要な取り組みと考える。菊池製作所も量産を発表していることから県と一体となって特区実現に取り組む。

**問** 若者の移住定住の促進は最優先課題である。出会いと結婚への支援策を実施すべきでは。

**答** 必要な施策と考えている。先進地の取組みを参考に、より成果のあがる事業を構築する。

**問** 現行法では年間5μSv以上で曝する区域、4Vg/cm以上の放射能汚染地域は放射線管理区域として規制される。放射線は浴びな



ドローン（菊池製作所 小高区）

いに越したことは無い。放射線防護をどう進めるのか。

**答** 放射線健康相談員が戸別訪問して情報提供する。不安払拭と健康を守るため市民の立場に立つことを原点对応する。

**問** 生活困窮者等の支援充実の必要がある。成年後見制度やフードバンク等の活用を図る考えはないか。

**答** 認知症、高齢者等が増加していることから

## 質問を終えて

『一番御苦労された地域が一番幸せになる権利がある』と。イノベ構想を必ず成功させたい。

## その他の質問

- 1 避難指示区域の解除の見通しは
- 2 解除後の支援制度の継続は
- 3 ガンマカメラで徹底した除染を

ら、成年後見制度やフードバンクの設立に社協と連携して充実したい。

**問** 市営住宅の保証人の緩和やペット飼育可について研究すべきでは。

**答** 連帯保証人は適宜柔軟に対応する。ペットについてはアレルギーの方もおり、時間をかけて研究したい。

# 一般質問